

ニュースリリース

2021年5月20日

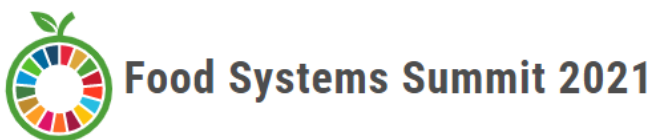
2021 国連食料システムサミットにて、持続可能な原料調達および地球環境負荷低減に関する 2030 年コミットメントを表明

不二製油グループ本社株式会社（大阪、代表取締役社長 酒井 幹夫）は、本年 9 月米国 NY で開催予定の「国連食料システムサミット 2021」において、原料のサステナブル調達および、CO2 排出削減や水使用量・廃棄物の削減等の 2030 年目標にコミットし、持続可能な食料システムへの変革に貢献することを表明します。

食料システムサミット (Food Systems Summit)とは「SDGs 達成のためには持続可能な食料システム（※）への転換が必要不可欠」というグテーレス国連事務総長の考えに基づき開催される国連主催イベントで、食料をシステムの視点で捉え、その持続性の確保を世界共通の課題として議論し、今後のあるべき姿を示していく各国ハイレベルによる初の国際会議です。

本サミットには、政府のみならず、食料システムに係る様々なステークホルダー（生産者、企業、消費者等）が参加し、各国より持続可能な食料システム構築に向けた取り組みがコミットメントとして取りまとめられ提出されます。

当社は日本政府のコミットメントを通じて、本サミットの趣旨に賛同し下記アクション目標を掲げ、地球も人もより豊かに健康的になれる食料システムの実現を目指して、PBFS（Plant-Based Food Solutions：植物性食品素材による課題解決）を推進していきます。



持続可能な原料調達の推進	
パーム	2030 年までに、農園までのトレーサビリティ 100%確立
	2025 年までに、主要グループ会社 Palmaju Edible Oil（マレーシア）全サプライヤーへ労働環境改善プログラム適用完了
カカオ	2030 年までに、不二製油グループのカカオ豆・製品サプライチェーン上における児童労働撤廃
	2025 年までに、国際労働機関（ILO）の定める最悪の形態の児童労働ゼロ
	2030 年までに、生物多様性に配慮しカカオ栽培地域に対して 100 万本植樹
環境ビジョン 2030 達成（基準年:2016 年）	
CO2 排出量	スコープ 1 & 2：40%削減、スコープ 3 カテゴリ 1：18%削減
水使用量	原単位 20%削減
廃棄物量	原単位 10%削減
再資源化率	99.8%以上維持（日本）



農林水産省 国連食料システムサミット

https://www.maff.go.jp/j/kokusai/kokusei/kanren_sesaku/FAO/fss.html

※食料システムとは、食料の生産、加工、輸送及び消費に関わる一連の活動のことを指し、本サミットの科学グループにおいては、「農業、林業または漁業、及び食品産業に由来する食品の生産、集約、加工、流通、消費および廃棄に関するすべての範囲の関係者及びそれらの相互に関連する付加価値活動、ならびにそれらが埋め込まれているより広い経済、社会及び自然環境を含むもの。」とされています。